



平成30年4月採用

新規採用職員からのメッセージ



総務部市町村財政課
遠藤 禎（行政事務）

●現在の仕事の内容

私の所属する市町村財政課では県内59市町村の財政運営の支援やとりまとめを行っています。その中で私は、普通交付税に関する業務を担当しています。普通交付税とは、団体間の財源の不均衡を調整し、全ての地方団体が一定の水準を維持できるように、国が地方に代わって税を徴収し、再分配するお金です。

私は市町村ごとの需要額や収入額を精査し、国や市町村と連携して交付税の額の算定や検査、分析を行っています。各市町村に対してサポートを行っていくために、実際に市町村を訪問したり、根拠を調べつつ関係機関と調整を行ったりしています。

●県職員として働いて感じたこと

一言に福島県といっても、59市町村の状況は様々だということを感じました。人口や地形に限らず、地場産品や施設、重点施策などあらゆることが財政に影響しているため、「各市町村の状況をより詳しく知ること適切な業務を行っていきたい」ということがこれからの私の目標です。



●採用後の研修などについて

新規採用職員研修では電話の取り方や窓口での対応の仕方など、社会人の基本となることを教えてもらえるため、とても勉強になりました。また、県の様々な部署や市町村の新規採用職員が合同で研修を行うため、仕事だけでは関わりを持つことができない同期の仲間と交流を深められたことも、とても有意義でした。

●試験の対策や情報の入手方法

筆記試験については、ひたすら問題集を解きました。知識が身につけているのか不安な時期もありましたが、諦めず続けることで本番の試験で問題を解き切る力に繋がったと思います。

また、県の説明会等へ参加したり、県HP上の資料を閲覧したりすることで、福島県で働くイメージを広げていきました。



●受験者へのメッセージ

福島県でどのような仕事をしたいのかは、皆さんそれぞれに違うとは思いますが、夢や目標を持った皆さんとともに働けることを心から楽しみにしています！

